

鋼構造シリーズ18 腐食した鋼構造物の耐久性照査マニュアル

正 誤 表

(第1版・第1刷を対象とする)

2009.4.30

箇所・項	誤	正
p.2-92【参考文献】2)	藤原博:JHIにおける省工程塗装への取り組みー鋼道路橋を対象としてー, 表面技術, Vol. 48, No. 8, 1997. 8	日本道路公団試験研究所:鋼橋の塗り替え塗装(マニュアル)ー維持修繕要領(改訂)等の解説ー, 試験研究所技術資料第453号, 平成6年4月, pp.98ー99

(第1版・第1刷および第2刷を対象とする)

2009.9.29

箇所・項	誤	正
p.1-251【参考文献】6)	高橋宏直、船橋 香、横田 弘:腐食した鋼管杭の力学的特性試験、国土技術政策研究所資料NO.44付属資料2(2002)	財団法人 沿岸開発技術センター:港湾鋼構造物補修マニュアル, 昭和61年3月.
p.2-172, 1~2行目	なお、バイパス工法は、鋼 I 桁に対する工法として適用されたが、の設計思想は、材交換工の基本であり、の構造へと拡がりを見せている。	なお、バイパス工法は、鋼 I 桁に対する工法として適用されたが、この設計思想は部材交換工が基本であり、他の構造へと拡がりを見せている。